

平成28年度第2回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年12月9日(金) 中央合同庁舎第2号館 国土交通省第2会議室B	
委員	委員長 浅野 正一郎 (国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄 (廣渡法律事務所 弁護士) 委員 高田 和幸 (東京電機大学理工学部教授)	
審議対象期間	平成28年4月 1日～平成28年9月30日	
工 事	抽出案件	1件
	一般競争	1件
	公募型指名競争	0件 (対象案件なし)
	通常指名競争	0件 (対象案件なし)
	随意契約	0件 (対象案件なし)
建設コンサルタント 業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署 工事・一般競争	0件	
合計	3件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	公募手続きについては、品質確保をはじめとした製品の出来高についても十分に検証し、平成29年度より試行運用頂くようお願いしたい。	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>【調達改善計画に基づく調達改善について】</p> <p>○公募による随意契約に移行すれば予定価格の低減が期待できるとあるが、そのプロセスについて説明をお願いしたい。</p>	<p>○契約相手先を契約締結前に特定できれば、現行方式と比べ精細な内容の見積徴取が可能になるため、予定価格の低減が期待できる案件があるのではと考えている。</p>
<p>[建設コンサルタント業務等]</p> <p>一般競争</p> <p>【東京国際空港の機能強化に向けた施設検討等調査】</p> <p>○1者応札になった理由の分析について、ご説明をお願いしたい。</p> <p>○あらかじめ年間の発注計画を公表するはずだが、いつ頃公表するのであったか。</p>	<p>○入札説明書を配布した事業者は3者であった。その内1者についてヒアリングしたところ、公告から参加申請するまでの準備期間が短いとの回答であった。仕様内容を検討する時間が短かったようなので、次回以降はそういった準備期間を長く設けるよう検討していきたい。</p> <p>○本案件については政府調達ではないが、コンサルタント業務についても同様に年間の発注計画について4月の段階で公表している。</p>
<p>[役務及び物品]</p> <p>一般競争</p> <p>【通信制御装置4式の製造の各通信制御装置の製造4件】</p> <p>○入札をしなかった事業者へのヒアリング結果について、今回抽出した4件についてはどのように分析しているか。</p> <p>○同じような装置について発注時期がバラバラであるが、スケールメリットの点でいうとまとめて発注するという考えもあると思う。</p>	<p>○事業を行うための手間や費用が容易に想像でき、現在の調達金額や配備数に対して新たに技術者を確保することは大変なのだと考えている。</p> <p>○昔であれば納地毎に発注していたが、同じ装置であれば納地が違ってまとめて発注している。</p>

○長期的なビジョンを示すことができれば参加意欲は高まるのではないかと思います。

○年間の発注予定情報で足りないという点では、例えばCARATSのように将来的な技術動向がアナウンスされているものもあるため、事業者もある程度は検討されているのではないかと思います。